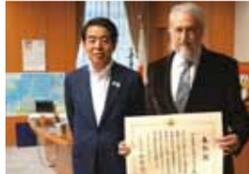


マークエステル・スカルシャフィキ MARCESTEL SQUARCIAFICHI

- 1943 パリ生まれ。その後、南仏コートダジュールのエズで両親が経営する「バナノレイホテル」に移り住む。
 - 1950 フランスのホテル協会会長である父が経営の「カップエステルホテル」に移住し、7歳から50年過ごす。ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。近くに住んでいたシャガールは「君は絵描きに向いている。是非画家になったら良い」と勧めた。
 - 1960 パリ大学経済学部で経済学学士号を取得後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ。
 - 1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。
 - 1970 大阪万博を訪れた際、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。岡本太郎氏との交流が始まる。
 - 1981 来日を希望されていたモナコ公国のグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。チャーリー・チャップリン、カラヤン、ザ・ビートルズ、ケネディ家、ポンピドゥー家、デヴィッド・ロックフェラー等と交流を深める。
 - 1987 アフリカ、及びアジアの子供達の支援を始める。現在、トーゴ、ブルキナファソ等で4つの学校を運営。
 - 1989 ソニーの盛田会長の好意により銀座ソニービル全館を使用し個展を開催。東京渋谷の東急文化村のオープニング企画として個展を開催。
 - 1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。
 - 2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七か国語で出版。翌年、神道文化会より文化奨励賞を受賞。
 - 2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。
 - 2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出展。
 - 2010 上海万博にアートディレクターとして参画。銀座アートホールにて個展（以降毎年）
 - 2011 三浦美術館（松山）にて個展。作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～むすび～」を開催。（高松）
 - 2012 作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～えひめ～」を開催。（松山）
 - 2013 「出雲大社『平成の大遷宮』奉祝奉納公演 絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供。（出雲大社 東神苑 特設ステージ）
 - 2014 下村文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受賞。
 - 2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展。
 - 2016 大東市立総合文化センター、高松シンボルタワー展示場、クリエート浜松にて個展。
 - 2017 飯田弥生ギャラリー（四谷）にて個展、Gallery LA REINE オープニング企画（神戸）、作品を舞台芸術化した公演「日本神話 by マークエステル」を開催。（明治神宮会館、レクザムホール高松）
 - 2018 石川県政記念しいのき迎賓館にて個展。（金沢）
- 現在、全国178社の神社に作品を奉納。サロン・ドートンヌ アジア代表。
パリ、ニューヨーク、ロンドン、ヨハネスブルク、シンガポール、北京、上海等、国内外にて個展多数。



表紙絵／神功皇后と応神天皇の愛（一部） 手彩入ジクレー版画 20P

会場／銀座アートホール
東京都中央区銀座8丁目110
TEL. 03-3571-5170
<http://ginza-arthall.com/>

JR / 「新橋駅」銀座口 徒歩3分 「有楽町駅」銀座口 徒歩7分
地下鉄 / 「新橋駅」5番出口 徒歩3分 「銀座駅」C2出口 徒歩7分

主催／株式会社H&T
東京都世田谷区代田6-6-9-2B
TEL. 03-6407-4343 E-mail: info@h-a-t.jp
<http://h-a-t.jp/>



マークエステル展

2018 4/17 [火] ≫ 4/22 [日]
11:00—18:30 最終日は16時まで

主催／株式会社H&T 会場／銀座アートホール

「古事記」を描く



マークエステル氏は、1970年の大阪万博に初来日した際、水墨画の滲みに魅了され外交官から画家へと転身を果たしました。27歳にして、本心が望む画家の道に進むことを、この地日本で決心したのです。以来48年間、心の欲するままに絵を描き多くの作品を生み出してきました。それは決して平坦な道ではありませんでしたが、常に目に見えない導きを感じる道のりでした。「古事記」との出会いもまた運命的でした。幼い頃より、神話の世界に興味を持っていた氏は、日本語習得のための教科書として「古事記」を選びその世界に魅了されます。ライフワークとして「古事記」を描くようになると、1996年に伊勢神宮、翌々年出羽三山神社から作品奉納の依頼を受けます。その二社への奉納を通して、全国の神社への作品奉納を決意し、現在まで178社の神社へ奉納して参りました。また、2006年には、「古事記」を世界7か国語に翻訳した画集「日本神話 by MARCESTEL」を出版し、世界に日本の神話を発信しています。氏は「他者を受け入れ、和合していく大らかな日本の精神文化は、今こそ世界に必要である」と言います。純真無垢な心で描き続けるマークエステルの作品は、人種や国境をも超越し東洋と西洋が調和共存する桃源郷の香りがします。



宗像三女神が広げる愛 油彩 8F



邇邇芸命の降臨 手彩入ジクレー版画 30F



淤能碁呂島に注がれた愛の光 手彩入ジクレー版画 20F



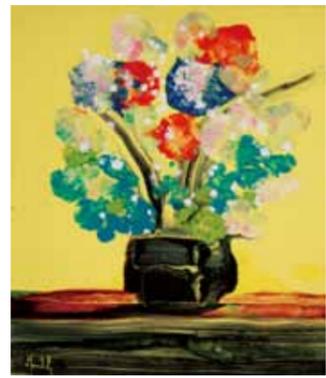
旅立つ邇邇芸命を見送る慈愛に満ちた天照大御神 手彩入ジクレー版画 47.8×38.0 大井神社奉納作品



富士山の愛情 油彩 15F



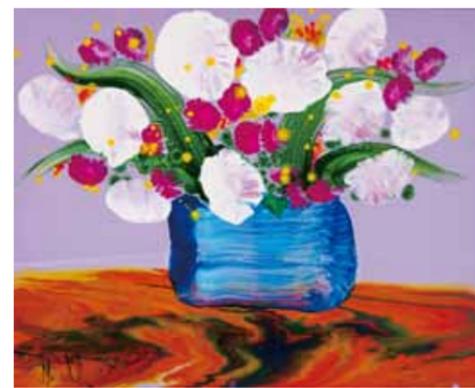
春の微笑み 油彩 25F



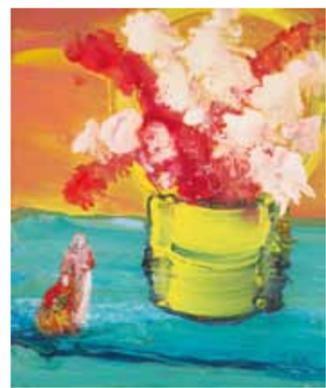
愛が現れた時 油彩 12F



永遠に飛翔する愛 油彩 10F



澄みきった貴方の心 油彩 15F



ブルーのテーブルクロスとブーケ 油彩 10F

日本は、ゆたかな国土と海に守られ独自の文化が花開きたいへん魅力溢れる国です。若き日、私はこの国にひと目惚れし画家になることを決心しました。繊細な思いやりの心を持つ母の懐のような国、日本。ここには世界を幸せにするヒントが随所に見受けられます。ひらめきとパワーを与えるくれるこの国は、正に世界のパワースポットです。日本の素晴らしさに世界の人々が気づき始めた今、憧憬の国として更に輝き世界を導いてくれることを願ってやみません。 マークエステル



愛の歌を奏でる ブロンズ 30×40×30



伊邪那岐命の愛の涙から誕生した神直日神、大直日神、八十柱津日神 手彩入ジクレー版画 40.0×40.0 櫻井神社奉納作品



天照大御神と豊受大御神の祝福を受ける大国主命 手彩入ジクレー版画 20F 宇夫階神社奉納作品



龍神と倭迹迹日百襲姫命の愛 手彩入ジクレー版画 38.0×46.8 田村神社奉納作品



手彩入ジクレー版画

ジクレーとはフランス語で「吹き付けて着色する」という意味で、現在では高密度デジタル出力の総称として使われています。ジクレー版画の上にマークエステル本人が、丹念に手彩を施し、エディションとサインを入れ、シート裏面に署名捺印をして完成となります。



溢れる愛 34×33×48.5



タイトル未定

ガラス工芸品



愛の光 20×65×30



清々しい一日の始まり 油彩 8F



愛のシンフォニー 手彩入ジクレー版画 38.0×47.8



清々しいベニスの光 手彩入ジクレー版画 38.0×45.8



母と子のブーケ 手彩入ジクレー版画 38.0×49.1